

質問に対する回答について
 工事名) 秋田自動車道 山内トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	機械損料は R4 年度建設機械等損料表に準拠すると考えてよろしいでしょうか。	機械損料について、最新の建設機械等損料表を適用しますが、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
2	トンネル工事以外の機械について、冬期休止期間が設定されているため、機械損料の豪雪地域等による補正は適用されていないと考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
3	特記仕様書 P. 46 27-31-2 補正対象項目及び補正方法(1) 補正係数による補正③ 共通仮設費に記載されています「設計金額(補正前)」とは、労務費、機械経費(賃料)および機械経費(損料)を補正する前の共通仮設費(率計上分)の対象額を指すのでしょうか。	特記仕様書27-31-2に示す内容に基づき補正する前の共通仮設費(率計上分)の対象額となります。
4	特記仕様書 P. 46 27-31-2 補正対象項目及び補正方法(1) 補正係数による補正④ 現場管理費に記載されています「設計金」とは、労務費、機械経費(賃料)、機械経費(損料)、共通仮設費を補正する前の現場管理費の対象額を指すのでしょうか。	特記仕様書27-31-2に示す内容に基づき補正する前の現場管理費の対象額となります。 なお、特記仕様書27-31-2(1)④現場管理費に記載されております「設計金」について、正しくは「設計金額(補正前)」となります。 上記については、交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。(4月15日掲載予定)
5	一般管理費の対象額は、直接工事費、共通仮設費、現場管理費を補正する前の一般管理費の対象額と同額と考えてよろしいでしょうか。	一般管理費等の対象額には、「週休2日推進に係る補正額」を含み、「週休2日推進に係る諸経費補正額」は含まれません。

番号	質問事項	回 答
6	<p>設計図 4/6 トンネル図面番号 52 について、種散布工、種吹付工の数量が、図中の坑門工数量表に記載されていて、かつ、「数量明細書」の 6 明り・坑門工 (起点側)、4-(3)種散布工、4-(4)種吹付工にも計上されていますが、設計図に種散布工、種吹付工の場所が記載されておられません。ご教示お願いいたします。</p>	<p>設計図 (4/6) トンネル 図面番号51に示す起点側坑門工平面図において、種散布工の施工箇所の記載が不足しておりました。また、種吹付工については、設計図 (4/6) トンネル 図面番号 68～71に示す吹付のり砕工および切土補強土工の施工箇所と重複しており、数量計上に誤りがありました。正しくは起点側坑門工における種吹付工の施工はございません。</p> <p>上記については、交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。(4月15日掲載予定)</p>
7	<p>設計図 4/6 トンネル図面番号 52 について、数量計算書では、Ⅱ-132 の切土補強工と、Ⅲ-26 の種吹付工が同じ位置にあるように思えますが、ご確認願います。</p>	<p>番号6の回答を参照ください。</p>
8	<p>設計図 4/6 トンネル図面番号 60 について、種散布工の数量が、図中の坑門工数量表に記載されていて、かつ、「数量明細書」の 7 明り・坑門工 (終点側)、4-(3)種散布工にも計上されていますが、設計図に種散布工の場所が記載されておられません。ご教示お願いいたします。</p>	<p>設計図 (4/6) トンネル 図面番号59に示す終点側坑門平面図において、種散布工の施工箇所の記載が不足しておりました。</p> <p>上記については、交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。(4月15日掲載予定)</p>

番号	質問事項	回 答
9	<p>設計図 4/6 トンネル図面番号 39～50 について、防災設備箱抜工（支保パターン別）が、図面番号 39,40 の非常用施設割付図に記載されていますが、図面番号 41～50 の防災設備箱抜工図（1）～（10）にない防災設備箱抜工（支保パターン別）があります。ご提示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットファン：CⅡ-b-i(H)-K、DⅠ-b(H)-K、DⅢa-A-2(H)-K （DⅢa-A-2(H)-K は、図面番号 39,40 の非常用施設割付図にはありませんが、数量計算書では、計上されています。） ・ELB：CⅡ-b-i(H)-K、DⅠ-b(H)-K、DⅢa-A-1(H)-K ・照明立上がり：DⅢa-A-1(H)-K ・誘導表示板（A）：CⅡ-b-i(H)-K、DⅠ-b(H)-K、DⅢa(H)-K ・端子盤：CⅡ-b-i(H)-K、DⅠ-b(H)-K ・通話型通報設備：CⅡ-b-i(H)-K、DⅠ-b(H)-K、DⅢa(H)-K、DⅢa-A-1(H)-K ・消火栓：CⅡ-b-i(H)-K、DⅠ-b(H)-K、DⅢa(H)-K 	<p>設計図（4/6）トンネル図面番号40に示す非常用施設割付図（2）の表記に誤りがありました。正しくは、ジェットファン手元開閉器の箱抜きはDⅠ-b(H)-Kの1箇所となります。また、防災設備箱抜工の施工に係る金抜設計書の単価表の数量に誤りがありました。上記については、交付図書を訂正致します。後日、訂正公告をご確認願います。（4月15日掲載予定）</p> <p>なお、設計図に記載の無い防災設備箱抜工図については、トンネル標準設計図集に示しておりますので、箱抜きを行う箇所の掘削支保パターンに基づきご確認ください。</p>